



**Veeam レプリケーション機能を使用した
Google Cloud VMware Engine 上のGoogle
Cloud NetApp Volumes NFS
データストアへの VM 移行**

NetApp public and hybrid cloud solutions

NetApp
August 18, 2025

目次

Veeam レプリケーション機能を使用した Google Cloud VMware Engine 上のGoogle Cloud NetApp Volumes NFS データストアへの VM 移行	1
概要	1
前提	1
移行ソリューションの導入	2
ソリューション展開の概要	2
導入環境の詳細	2
このソリューションの利点	2

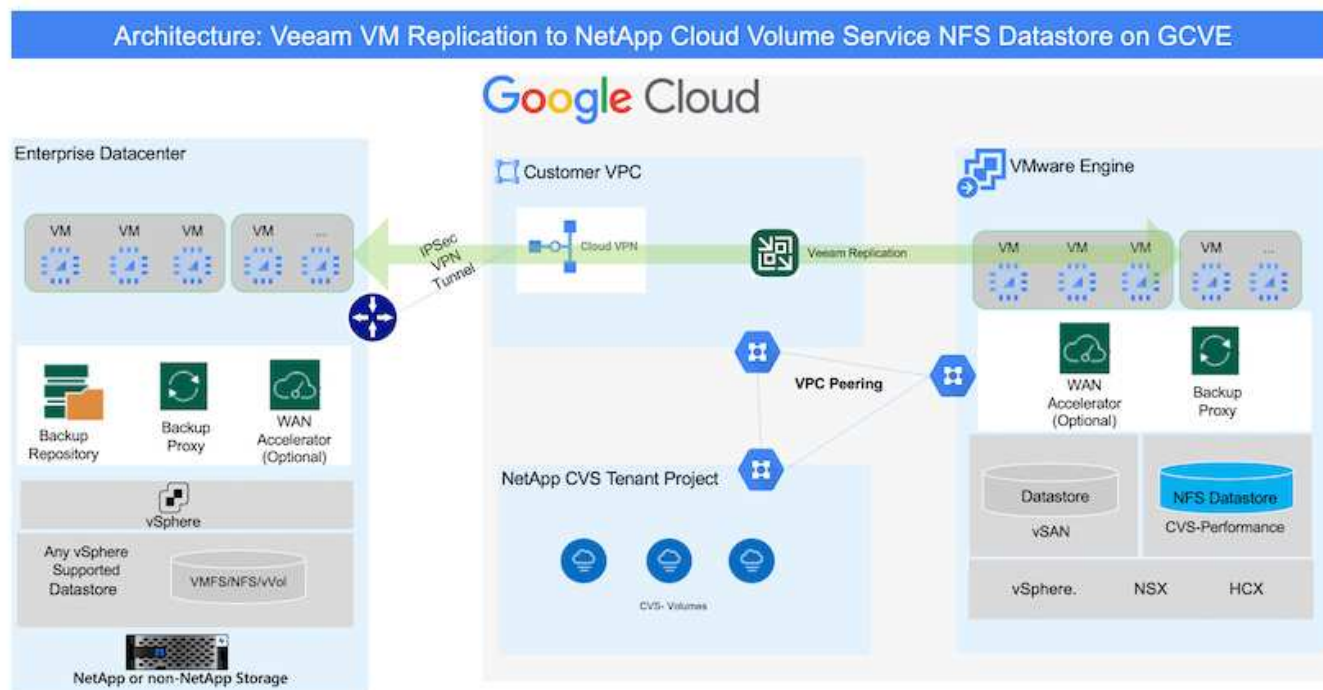
Veeam レプリケーション機能を使用した Google Cloud VMware Engine 上の Google Cloud NetApp Volumes NFS データストアへの VM 移行

現在、データ保護の要件に Veeam を使用しているお客様は、引き続きそのソリューションを使用してワークロードを GCVE に移行し、Google Cloud NetApp Volumes NFS データストアのメリットを享受できます。

概要

VMware vSphere 上で実行されている VM ワークロードは、Veeam レプリケーション機能を利用して Google Cloud VMware Engine (GCVE) に移行できます。

このドキュメントでは、Google Cloud NetApp Volumes、Veeam、Google Cloud VMware Engine (GCVE) を使用した VM 移行を設定および実行するための手順を詳しく説明します。



前提

このドキュメントでは、既存の vSphere サーバーから Google Cloud VMware Engine へのネットワーク接続を確立するために、Google Cloud VPN または Cloud Interconnect またはその他のネットワーク オプションが準備されていることを前提としています。



オンプレミスのデータセンターを Google Cloud に接続するには複数のオプションがあるため、このドキュメントでは特定のワークフローの概要を説明することはできません。参照["Google Cloud ドキュメント"](#)オンプレミスから Google への適切な接続方法については、こちらをご覧ください。

移行ソリューションの導入

ソリューション展開の概要

1. Google Cloud NetApp Volumesの NFS データストアが GCVE vCenter にマウントされていることを確認します。
2. Veeam Backup Recoveryが既存のVMware vSphere環境に導入されていることを確認する
3. レプリケーション ジョブを作成して、仮想マシンを Google Cloud VMware Engine インスタンスにレプリケーションし始めます。
4. Veeam レプリケーション ジョブのフェイルオーバーを実行します。
5. Veeam で永続的なフェイルオーバーを実行します。

導入環境の詳細

Google Cloud NetApp Volumesの **NFS** データストアが **GCVE vCenter** にマウントされていることを確認します。

GCVE vCenter にログインし、十分なスペースのある NFS データストアが利用可能であることを確認します。そうでない場合は、["GCVE でNetAppボリュームを NFS データストアとしてマウントする"](#)

Veeam Backup Recoveryが既存の**VMware vSphere**環境に導入されていることを確認する

参照してください["Veeam レプリケーション コンポーネント"](#)必要なコンポーネントをインストールするためのドキュメント。

レプリケーション ジョブを作成して、仮想マシンを **Google Cloud VMware Engine** インスタンスにレプリケーションし始めます。

オンプレミスの vCenter と GCVE vCenter の両方を Veeam に登録する必要があります。["vSphere VM レプリケーションジョブのセットアップ"](#)方法を説明したビデオはこちら["レプリケーションジョブの構成"](#)。



レプリカ VM はソース VM とは異なる IP を持つことができ、異なるポート グループに接続することもできます。詳細については、上記のビデオをご覧ください。

Veeam レプリケーションジョブのフェイルオーバーを実行する

VMを移行するには、以下を実行します。["フェイルオーバーを実行する"](#)

Veeam で永続的なフェイルオーバーを実行します。

GCVEを新しいソース環境として扱うには、以下を実行します。["永続的なフェイルオーバー"](#)

このソリューションの利点

- 既存の Veeam バックアップ インフラストラクチャを移行に利用できます。
- Veeam Replication では、ターゲット サイトの VM IP アドレスを変更できます。

- Veeam の外部で複製された既存のデータを再マップする機能があります (BlueXPから複製されたデータなど)
- ターゲット サイトで異なるネットワーク ポート グループを指定する機能があります。
- VM の電源をオンにする順序を指定できます。
- VMware Change Block Tracking を利用して、WAN 経由で送信されるデータの量を最小限に抑えます。
- レプリケーションの事前スクリプトと事後スクリプトを実行する機能。
- スナップショットの事前スクリプトと事後スクリプトを実行する機能。

著作権に関する情報

Copyright © 2026 NetApp, Inc. All Rights Reserved. Printed in the U.S. このドキュメントは著作権によって保護されています。著作権所有者の書面による事前承諾がある場合を除き、画像媒体、電子媒体、および写真複写、記録媒体、テープ媒体、電子検索システムへの組み込みを含む機械媒体など、いかなる形式および方法による複製も禁止します。

ネットアップの著作物から派生したソフトウェアは、次に示す使用許諾条項および免責条項の対象となります。

このソフトウェアは、ネットアップによって「現状のまま」提供されています。ネットアップは明示的な保証、または商品性および特定目的に対する適合性の暗示的保証を含み、かつこれに限定されないいかなる暗示的な保証も行いません。ネットアップは、代替品または代替サービスの調達、使用不能、データ損失、利益損失、業務中断を含み、かつこれに限定されない、このソフトウェアの使用により生じたすべての直接的損害、間接的損害、偶発的損害、特別損害、懲罰的損害、必然的損害の発生に対して、損失の発生の可能性が通知されていたとしても、その発生理由、根拠とする責任論、契約の有無、厳格責任、不法行為（過失またはそうでない場合を含む）にかかわらず、一切の責任を負いません。

ネットアップは、ここに記載されているすべての製品に対する変更を随時、予告なく行う権利を保有します。ネットアップによる明示的な書面による合意がある場合を除き、ここに記載されている製品の使用により生じる責任および義務に対して、ネットアップは責任を負いません。この製品の使用または購入は、ネットアップの特許権、商標権、または他の知的所有権に基づくライセンスの供与とはみなされません。

このマニュアルに記載されている製品は、1つ以上の米国特許、その他の国の特許、および出願中の特許によって保護されている場合があります。

権利の制限について：政府による使用、複製、開示は、DFARS 252.227-7013（2014年2月）およびFAR 5252.227-19（2007年12月）のRights in Technical Data -Noncommercial Items（技術データ - 非商用品目に関する諸権利）条項の(b)(3)項、に規定された制限が適用されます。

本書に含まれるデータは商用製品および / または商用サービス（FAR 2.101の定義に基づく）に関係し、データの所有権はNetApp, Inc.にあります。本契約に基づき提供されるすべてのネットアップの技術データおよびコンピュータ ソフトウェアは、商用目的であり、私費のみで開発されたものです。米国政府は本データに対し、非独占的かつ移転およびサブライセンス不可で、全世界を対象とする取り消し不能の制限付き使用权を有し、本データの提供の根拠となった米国政府契約に関連し、当該契約の裏付けとする場合にのみ本データを使用できます。前述の場合を除き、NetApp, Inc.の書面による許可を事前に得ることなく、本データを使用、開示、転載、改変するほか、上演または展示することはできません。国防総省にかかる米国政府のデータ使用权については、DFARS 252.227-7015(b)項（2014年2月）で定められた権利のみが認められます。

商標に関する情報

NetApp、NetAppのロゴ、<http://www.netapp.com/TM>に記載されているマークは、NetApp, Inc.の商標です。その他の会社名と製品名は、それを所有する各社の商標である場合があります。